

柏市上下水道ビジョン 素案の提示と検討

目次

1. 前回審議会の振り返り
2. 柏市上下水道事業ビジョン 本編の概要
3. 柏市上下水道事業ビジョン 資料編の概要
4. 今後のスケジュール

1. 前回審議会の振り返り

前回審議会における指摘事項について

前回審議会では事業計画と財政収支見通しについて御審議いただきました。当該審議の中で以下の事項について事務局の説明が不十分であるとの御指摘をいただきました。

- (1) 水道事業において現行ビジョンとの収支見通しに差異があること
- (2) 次期ビジョン計画期間における料金改定の必要性
- (3) 財務的な健全性を確保する場合の収支の見通し

以下、これらの点について、順を追って説明します。

財政収支見通しの差異は、「事業費の増加」と「事業環境の変化」によるもの

- 令和17年度(新ビジョンの計画終了年度)で財政収支見通しの推計値を比較すると、減価償却費や支払利息が増額している他、費用が全体的に増加していることがわかる。
- これは主に、「事業費の増加」と「事業環境の変化」が要因であると言える。

水道収益的収支
(億円)

現行ビジョン
R17推計値

新ビジョン
R17推計値

差分の主な要因

各要因の具体的な原因は
次スライド以降に記載

| | 現行ビジョン R17推計値 | 新ビジョン R17推計値 |
|--------|------------------|-----------------|
| 営業収益 | 76 | 78 |
| 営業外収益 | 8 | 7 |
| 営業費用 | 76 | 90 |
| 職員給与費 | 4 | 5 |
| 減価償却費等 | 31 | 40 |
| 経費 | 41 | 45 |
| 営業外費用 | 0.08 | 3 |
| 支払利息 | 0.07 | 3 |
| その他 | 0.004 | 0.005 |
| 純利益 | 8 | ▲8 |

事業費の増加(減価償却費の増加)

- 今後柏市水道事業では、更新が主な事業であり、これらの負担が大きい時期に差し掛かっている。
- 現行ビジョンで計画されていた事業のうち一部(第五水源地受水井等耐震化、基幹管路更新等)の工事が繰り越しになったこと、精緻に更新需要を見積りしたことにより、現行ビジョンと比較して、新ビジョンでは事業費が増加した。
- また、それにより収益的収支では減価償却費が比較的増加した。
✓比較すると令和17年度時点で約9億円の増額である。

事業環境の変化(金利・物価・人件費の上昇)

- 現行ビジョンと比較して、新ビジョンでは支払利息が増加している。
- 新ビジョンでは企業債を活用して資金調達を行う方針であり、この影響によるものである。
✓比較すると令和17年度時点で約3億円の増額である。
- また、基本的に物価上昇等の影響を受けており、費用は全体的に増加の傾向である。

:特に影響が大きい費用項目

事業費の増加: 全国的な傾向を反映して概算事業費の精度を向上、事業費が増加した

- 近年、全国的に概算事業費の精度について問題視されており、国も費用関数の活用方法について留意するよう促す等の対応を行っている。
- 柏市においても費用の精緻化を図った結果、事業費が増加する結果となった。

全国的に概算工事費の精度について問題視されている

- 多くの事業体で、費用関数や台帳価格に基づいて建設デフレーターによる現在価値化を行い更新需要の算定が行われてきた。
- しかし、近年では設備更新時の高機能や諸経費率上昇によるコスト構造の変化に対応できおらず、実態よりも安価に算定されてしまう例が散見される。



国の対応

- 令和6年度3月に「※費用関数の手引き 活用に当たっての留意点」を公表した。
- 資料では、下記点を始めとした問題点を指摘し適切な活用を促している。
 - ✓ 物価や諸経費上昇等を上手く反映できおらず概算額が過少となっている。
 - ✓ デフレーターや諸経費率を用いた比率補正を行う必要性や状況に応じて個別に費用を補正する必要性に言及

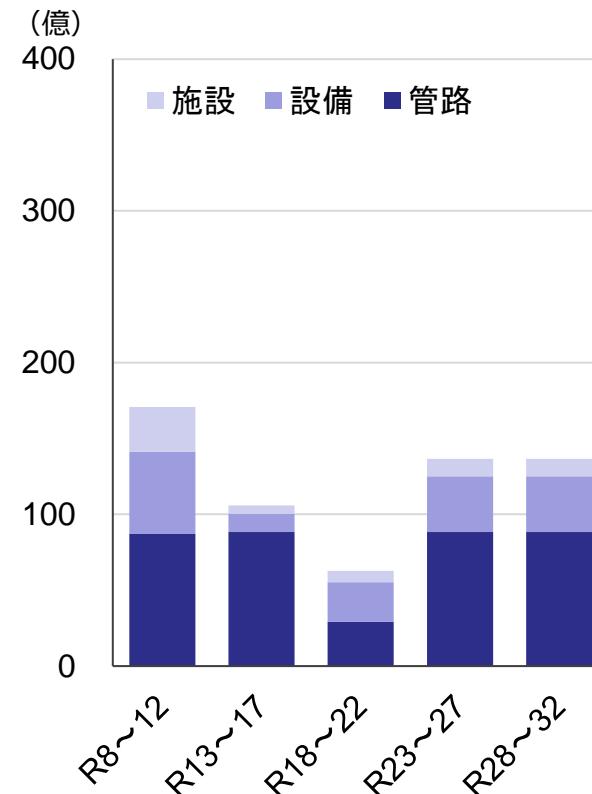


柏市の対応

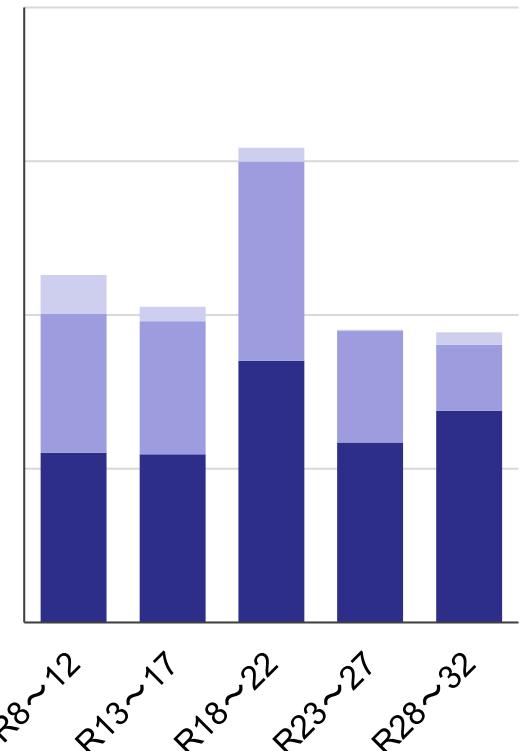
- これまで、費用関数や固定資産台帳の取得価格にデフレーターを考慮して概算費用を算定していた。
- 新ビジョンでは、今後10年間の更新需要の大半が管路と設備であることを考慮して下記手法で費用を算定した。
 - ✓ 管路・施設: 直近実績や台帳価格に諸経費等の上昇分を見込んで算定
 - ✓ 設備: メーカーヒアリングにて算定

事業費・更新需要の比較

現行ビジョン



新ビジョン



※「水道事業の再構築に関する施設更新費用算定の手引き」活用にあたっての留意点 令和6年3月

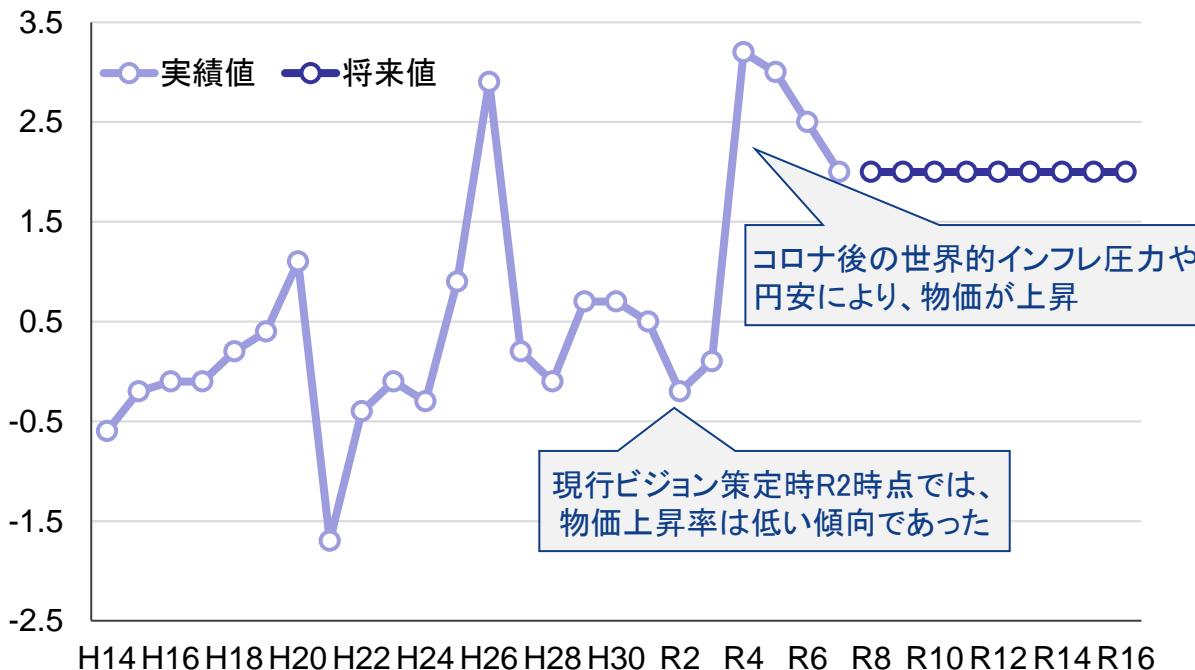
※現行ビジョンと新ビジョンでは、計画期間に違いがある。

※現行ビジョンは当時の事業計画を反映したものであり、新ビジョンは令和17までは事業計画を反映したもの

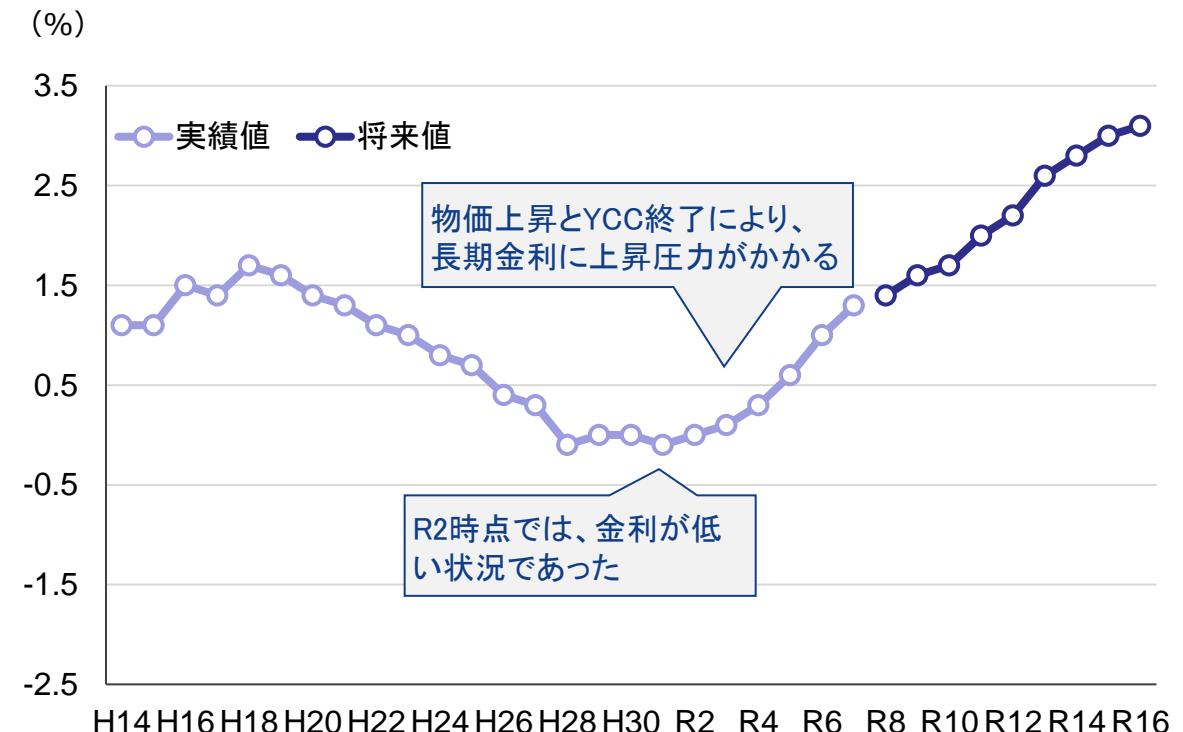
事業環境の変化: 現行ビジョン策定時より事業環境が大幅に変化した

- 令和2年度の現行ビジョン策定時は消費者物価指数は1%以下、長期金利は0%付近であり、将来においてもその影響は大きくない想定であった。
- しかし、コロナ後以降はその値が大きく上昇したことにより、新ビジョンではその影響を反映した。
- その結果、維持管理費用や利息増加につながった。

消費者物価指数



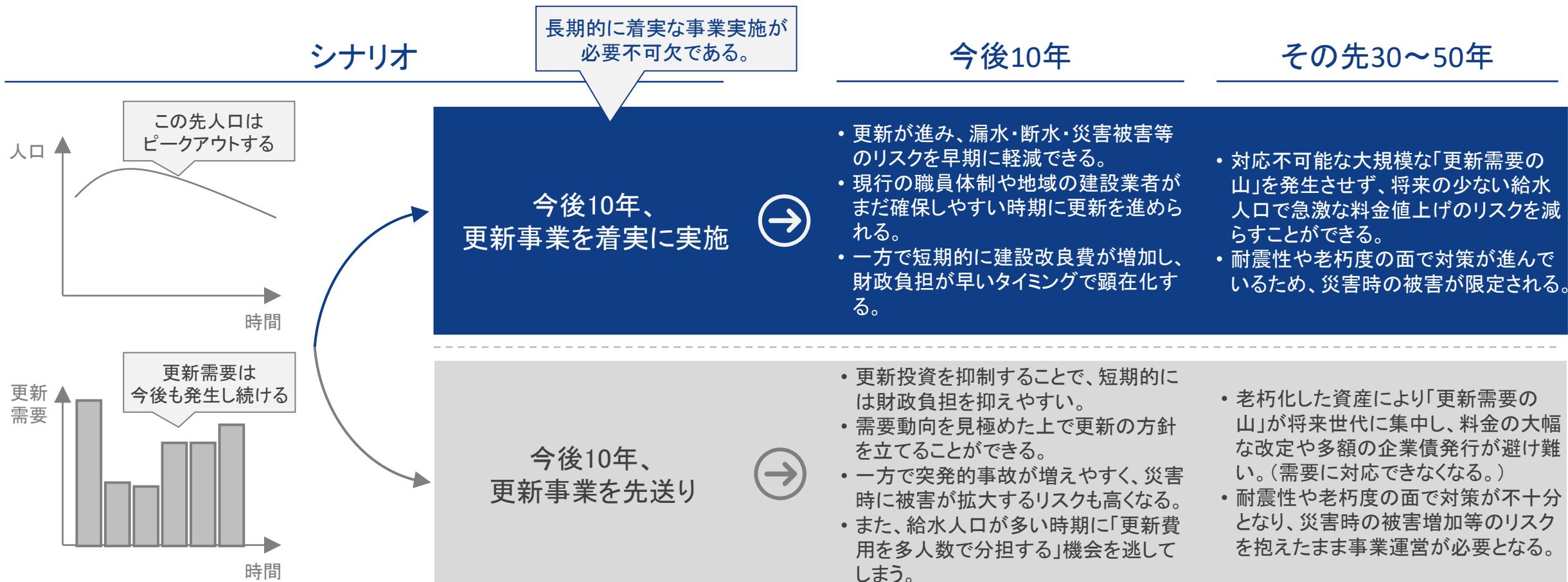
長期金利



※出所:「中長期の経済財政に関する試算 令和7年1月17日」より作成

長期的な事業運営を見据えた事業計画：必要な更新事業は、先送りせずに、着実に行う

- 水需要予測では2038年度頃をピークに需要は減少傾向に転じる見込みであるが、更新需要は今後も発生し続ける予測である。
- これらの予測から考えられるシナリオとして、「今後10年、更新事業を着実に実施する場合」と「今後10年、更新事業を先送りする場合」が考えられる。
- それぞれの今後10年、その先30～50年後を考えると、「今後10年、更新事業を着実に実施する場合の方が、長期的に事業運営が安定すると考える。



財務的な健全性を確保する場合の収支の見通し

1 水道料金の収支均衡を想定したシミュレート

- 資料1-2 資料編 P 134 ~ P139
- 資料1-4 P 2 ~ P6

2 下水道使用量の収支均衡を想定したシミュレート

- 資料1-2 資料編 P151 ~ P156
- 資料1-4 P 7 ~ P11

2. 柏市上下水道事業ビジョン 本編の概要

本編の概要(その1:第1章～第4章)

| 章 | 表題 | 概要 | 関連審議会 |
|---|-----------------|---|-------------|
| 1 | 上下水道事業ビジョン策定の目的 | ビジョンの目的と柏市本庁や国・県等の上位組織の計画との位置づけを記載 | — |
| 2 | 取り巻く事業環境と課題 | 上下水道事業を取り巻く環境変化とそれに伴う課題を「1.自然災害」「2.施設の老朽化」「3.財源及び職員の減少」という3つの観点から整理して記載 | 令和6年度第2回・3回 |
| 3 | 事業の見通し | 将来の見通しについて、「1.人口」「2.水量」「3.料金収入」という3つの観点について記載 | 令和7年度第1回 |
| 4 | 理念及び基本方針 | 上下水道事業のあるべき姿を「理念」として示し、理念を実現するための方向性を「基本方針」として記載 | 令和7年度第1回・2回 |

本編の概要(その2:第5章～第7章)

| 章 | 表題 | 概要 | 関連審議会 |
|---|-----------------|---|---|
| 5 | 経営戦略 | 理念と基本方針を実現するための事業内容を「経営戦略」として整理。「1.施策の方向性」「2.財政計画」「3.経営戦略の諸前提」の3つに分けて記載 | 1⇒令和7年度第2回 2・3⇒令和7年度第4回 |
| 6 | アクションプラン | 経営戦略を実行するための具体的な行動計画を「アクションプラン」として整理「1.指標管理」「2.重点施策」「3.各施策のアクションプラン」の3つに分けて記載 | 1⇒令和7年度第2回 2⇒令和7年度第2回・3回 3⇒令和7年度第2回 |
| 7 | 上下水道事業ビジョンの推進体制 | 上下水道事業ビジョンについて、継続的な進捗管理と評価を行う旨を記載。令和12年度に中間評価、令和17年度に総合評価を行い、次期計画への反映を図る | — |

3. 柏市上下水道事業ビジョン 資料編の概要

資料編の概要(その1:第1章～第4章)

| 章 | 表題 | 概要 | 本編対応箇所 |
|---|---------------|--|-----------------|
| 1 | 柏市の概要 | 柏市そのものについての説明。歴史、人口の推移、地理的条件等を記載 | — |
| 2 | 上下水道事業の概要 | 上下水道事業に関する、沿革、事業の特徴、水需要実績、料金体系、施設概要を記載 | — |
| 3 | 上下水道事業の将来事業環境 | 人口や水量の将来推計を基に、料金収入についての見通しを算定 | 第3章 事業の見通し |
| 4 | 現状と課題 | 既存計画である水道事業ビジョン及び下水道事業中長期経営計画の振り返り結果から、今後の課題等を抽出 | 第2章 取り巻く事業環境と課題 |

資料編の概要(その1:第5章～第8章)

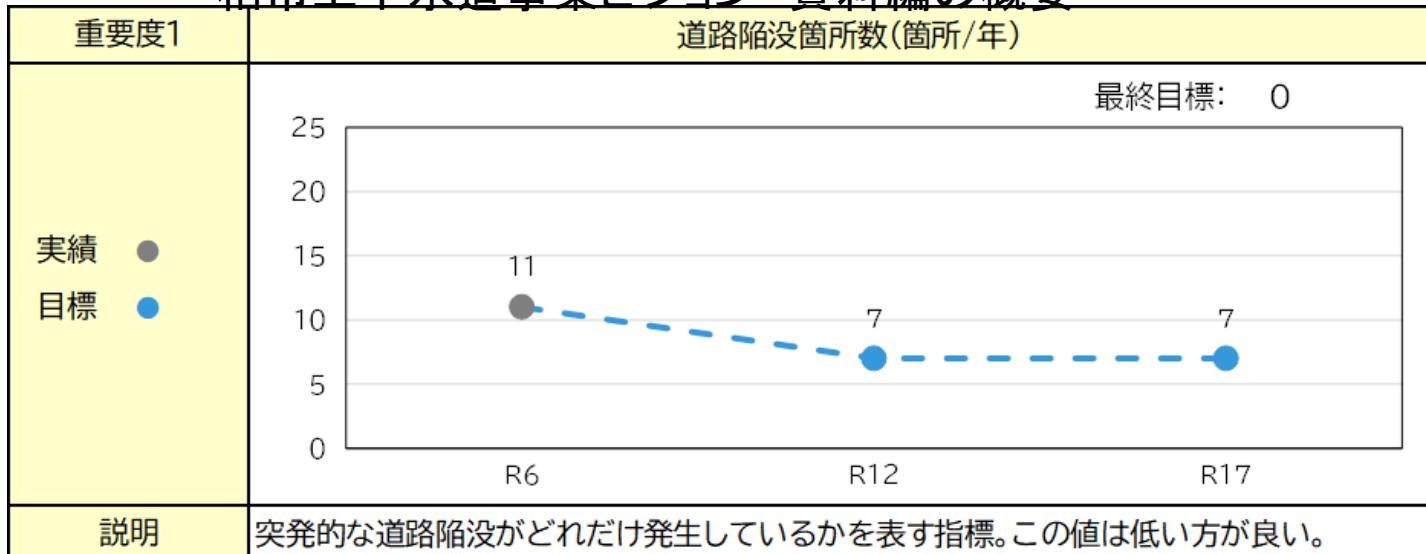
| 章 | 表題 | 概要 | 本編対応箇所 |
|---|----------------|---|---------------------|
| 5 | 理念及び基本方針 | 本編と同様の内容 | 第4章 理念及び基本方針 |
| 6 | アクションプラン | 本編の内容に加え、目標管理を行う重要度2の指標について詳細に記載。 ※指標の見せ方について、前回審議会資料から大きく変更を加えています。 | 第6章 アクションプラン |
| 7 | 経営戦略（総務省準拠版） | 本編の内容に加え、内部留保資金についての考え方を記載。また、収支均衡を想定した参考シミュレーションを上下それぞれ3パターン記載。 | 第5章 経営戦略 |
| 8 | 推進体制、進捗管理と評価指標 | 本編の内容に加え、重要度3の指標を一覧表に追加して記載。 | 第7章 上下水道事業ビジョンの推進体制 |

資料編の概要(その3: 指標の見せ方の変更の例)

| 指標 | 単位 | LV | 良い方向 | 最終目標 | R6 実績 | 5年後 目標 | 10年後 目標 | 式 | 説明 |
|---------|--------|----|------|---------|----------|-----------|------------|---|----------------------------|
| 道路陥没箇所数 | (箇所/年) | 1 | ↓ | 悪化の抑制※1 | 11 | 7 | 7 | - | 突発的な道路陥没がどれだけ発生しているかを表す指標。 |



柏市上下水道事業ビジョン 資料編の概要



4. 今後のスケジュール

| 審議会 | 時期(予定) | テーマ |
|-----|------------|---------------------|
| 第1回 | 令和6年12月23日 | 計画の全体像と既計画の実施状況について |
| 第2回 | 令和7年3月14日 | 【諮問】既存計画の評価と課題 |
| 第3回 | 令和7年7月23日 | 将来見通し及び理念・基本方針の設定 |
| 第4回 | 令和7年8月26日 | 実現方策の検討（その1） |
| 第5回 | 令和7年10月7日 | 実現方策の検討（その2） |
| 第6回 | 令和7年11月25日 | 事業計画と財政見通し |
| 第7回 | 令和7年12月23日 | 上下水道ビジョン素案の提示と検討 |
| ★ | 令和8年1月 | パブリックコメントの実施 |
| 第8回 | 令和8年2月 | 【答申】 |